

震災復興支援活動の記録

<p>住所</p> <p>※①市町名は公開 させていただきま す</p>	<p>〒</p> <p>(事務局記入欄)</p>	<p>(①市・郡・町) 宝塚市</p> <p>(②区・町・字)</p> <p>(③丁目・番地等)</p> <p>(④Ⅷ)</p>
<p>氏名 団体名</p>	<p>上田 一弘 「はっぴー」</p>	
<p>活動の内容</p> <p>名称</p> <p>期間</p> <p>場所</p> <p>具体的内容</p> <p>うれしかったこと</p> <p>困ったことなど</p>	<p>「はっぴー」はメンバー5名で、毎週1回、テリサーブセンターで被災高齢者 を中心にふれあい喫茶をしています。 家で掃除するときにいつも気になるおの時の傷跡、天井の色違いのクロスや修理跡、 テレビの周りの壁の楔形の傷穴、サドボードの上の凹み穴など、見るとびにあの日の ことが思い起され、胸が痛くなります。新築3年後の半壊状態と似た我家 片付けをここへ一週間後に会社に復帰、仕事を早くに手が付けられず、呆 然としていたあの日。その後、定年となり、ホリエアセンターの誘いにより、 テリサーブセンターで喫茶ボランティアをするようになりました。家が全壊し 県営住宅に入ってもらい、お孫子が産まれ高齢者、おの時のジョウで連合会を 亡くした人、退学難所を転々とし、病気になる、体の自由が利かなくな った人など、いろいろな高齢者が来られます。普段は明るく、元気 で、一旦、震災の話になると、思い出したくない、涙が出てくる、 なぜ顔を曇らせると人が多いですが、皆しの子供のころ、若い頃の話にな ると俄然、元気になり、お話し盛んになります。今日は出来ただけ楽しい話題を中心 に、20×2や歌謡曲などでカラオケで大声で歌うなどして、日々、気持ちよく 過ごしているがけるお努めしています。「今日は楽しかった!」「今日のサーブ はおいしかったよ」など言っていたらいたとき、本当にこのボランティアを始めて いて良かったと思います。そして、被災高齢者の心の傷が少しづつでも 良くなってゆくことを願っています、この活動を続けていきます。</p>	

震災復興支援活動の記録

住所 ※①市町名は公開 させていただきます	〒	(事務局記入欄)
	(①市・郡・町)	宝塚市
	(②区・町・字)	
	(③丁目・番地等)	
	(④TEL)	
氏名 団体名	カミロ ボニーヤ アルテ交流センター	
活動の内容 名称 期間 場所 具体的内容 うれしかったこと 困ったことなど	<p style="text-align: center;">日本とエルサルバドルの版画展</p> <p>エルサルバドル国立美術館 2004, 11, 9～11, 15</p> <p>芦屋市浜風の家 2005, 1, 16～1, 30</p> <p>神戸市布引ハーブ園 2005, 2, 5 ～2, 20</p> <p>エルサルバドルの作品 20点 (19名)、フランスの作品 4点(2名) 日本の作品 39点(22名)合計 63点の版画、デッサンの作品を両国 で展示し文化交流を行いました。テーマは「共に歩もう、よりよい 未来へ」です。阪神淡路大震災、エルサルバドル大震災(2001 年)から復興に向けて取り組む中、少しでも前向きに生きようとする 心の支えになれば、また心の交流ができたらと取り組んでまいり ました。エルサルバドルでは好評でたくさんの方々に鑑賞していただ きました。出品者の中には被災した方々や、親類を地震でなくした 方がおられます。絵画を通して一人でも多くの方がほっとするひ と時を過ごしてもらえればと願っています。</p>	

震災復興支援活動の記録

住所 ※①市町名は公開 させていただきます	〒	(事務局記入欄)
	(①市・郡・町)	宝塚市
	(②区・町・字)	
	(③丁目・番地等)	
	(④TEL)	
氏名 団体名	カミロ ホニーヤ アルテ交流センター	
活動の内容 名称 期間 場所 具体的内容 うれしかったこと 困ったことなど	<p>少女像「希望」を浜風の家（芦屋市）</p> <p>震災遺児や孤児ら心に傷を受けた子供たちを支える「浜風の家」が開館されるに当たって白い少女像を1998年1月10日に設置しました。カーネーションを持った少女像は両親や兄弟に元気な姿を報告しているのです。震災の犠牲になった方々にとって残された子供の元気な姿が何よりの供養になるのです。目に見えない心のケアをする安らぎの場としての「浜風の家」でいつも子供たちを温かく出迎え、見守り続けます。いつまでも希望を持って強く生きてくれることを願っています。</p> <p>少女像「ありがとう」を布引ハーブ園へ（神戸市）</p> <p>エルサルバドル大地震（2001年）で被災した方々に神戸を中心としたみなさんからたくさんのご支援を頂きました。エルサルバドルでは遅々として思うように進まない面もありますがたくさんのお優しいさに感謝しています。代表してひまわりを持った少女像「ありがとう」を布引ハーブ園に寄贈いたしました。訪れる人達は記念写真を撮ったり、足元に硬貨を置いたり可愛がってもらっています。</p>	

震災復興支援活動の記録

<p>住所</p> <p>※①市町名は公開 させていただきます</p>	<p>〒</p> <p>(事務局記入欄)</p>	<p>(① 市・郡・町)</p> <p>宝塚市</p> <p>(② 区・町・字)</p> <p>(② 丁目・番地等)</p> <p>(④ TEL)</p>
<p>氏名 団体名</p>	<p>情報サークル” いい輪” 野村 純子</p>	
<p>活動の内容</p> <p>名称</p> <p>期間</p> <p>場所</p> <p>具体的内容</p> <p>うれしかったこと</p> <p>困ったことなど</p>	<p>震災の年の秋に「阪神・淡路大震災と情報」というアンケートを宝塚市民に行いました。(回答 214 名)震災時に役立った情報源(新聞、テレビ、ラジオ、広報、口コミ近隣、口コミ友人)、また水・電気・ガス、風呂、交通(電車)、道路情報、医療、ボランティア、安否情報、炊き出し、買い物、入試に役立った情報源について聞きました。</p> <p>テレビ、ラジオ、新聞での「宝塚市の情報」は少なくなかったかと、各情報源の情報についての意見を書き込んでもらいました。その集計結果を「宝塚版あの大震災時の情報」としてまとめました。</p> <p>そこで 1 小学校区を単位に、小学校をキーステーションとして情報を流すシステムをつくっておくこと、2 多様な情報手段の確保、3 近隣の良い人間関係 の3つの提案をしました。さらにこの「宝塚版あの大震災時の情報」をもとに、翌年1月27日に宝塚市立中央公民館でフォーラム「これからの地域情報を考える」を開催しました。</p> <p>被災者として欲しい情報と、被災地の現状を知らせる情報は違う。被災状況を知らせる情報でも被災者の立場を考えた情報が大切である。しかも時間をおうごとに必要な情報が変わっていったということが話し合われました。</p> <p>また震災時の情報の偏りから、双方向性の情報ツールとしてコンピューターに注目し、宝塚情報ボランティアネットワーク(代表 高原宏子さん)をたちあげました。コンピューター操作技術の講習をする一方、宝塚市のホームページに避難所マップをアップしました。毎年市の防災訓練では、避難所で避難住民の名簿を入力する情報ボランティアとして参加してきました。</p> <p>災害時にパニックを防ぐためにも情報は大切です。被災地と被災地外では欲しい情報が違います。そのため地域密着メディアとマスメディアでは違った使命があるでしょう。これからも情報発信の検証は大切です。</p>	

震災復興支援活動の記録

<p>住所</p> <p>※①市町名は公開させていただきます</p>	<p>〒</p> <p>(① 市・郡・町)</p> <p>宝塚市</p> <p>(② 区・町・字)</p> <p>(② 丁目・番地等)</p> <p>(④ TEL)</p>	<p>(事務局記入欄)</p>
<p>氏名 団体名</p>	<p>【主催者】宝塚市ピピアめふ催事実行委員会</p>	
<p>活動の内容</p> <p>名称 期間 場所 具体的内容 うれしかったこと 困ったことなど</p>	<p>【目的】</p> <p>① 阪神淡路大震災の教訓を風化させない</p> <p>② 震災で尊い命を落とされた方々のご冥福を祈る</p> <p>【イベント】</p> <p>① 復興の集い〈合唱又は演奏〉(宝塚市立売布小学校及び近隣の幼稚園等の協力を得て実施)</p> <p>② 炊き出し 300食〈豚汁とおにぎり〉(Coop こうべめふ店、兵庫六甲農業協同組合宝塚支店、宝塚消費者協会の協力を得て実施)</p> <p>③ バザー〈福祉施設の製品、エコ賞品・非常用保存食、海外の民芸品の販売〉(宝塚さざんか福祉会、宝塚消費者協会、宝塚市国際交流協会の協力を得て実施)</p> <p>④ シネ・ピピア 1・2〈上映映画の割引〉(シネ・ピピアの協力を得て実施。なお、今回は併せて「阪神大震災 再生の日々を生きる」を上映予定)</p> <p>⑤ 災害救援義援金募金〈各専門店店頭及び当日会場に募金箱を設置〉(各専門店の協力を得て実施)</p>	
	<p>※ ピピアめふ(震災後の再開発事業で完成)がオープン後の 2001 年 1 月 17 日から継続して実施中、今まで大勢の方々が参加され、当日は暖かい豚汁とおにぎり 1 個ではあるが、食しながら同時に思いを馳せながら、震災当時の実情を思い出されている。ただ、炊き出しはボランティアで行っており、各団体の協力があり実施できている、今後とも、協力が得られれば、このメモリアルデーを継続していきたい。</p>	

震災復興支援活動の記録

<p>住所</p> <p>※①市町名は公開させていただきます</p>	<p>〒 (事務局記入欄)</p> <p>(①市・郡・町) 岩塚市</p> <p>(②区・町・字)</p> <p>(③丁目・番地等)</p> <p>(④TEL)</p>
<p>氏名 団体名</p>	<p>武村寿子 (岩塚すずらんエコー)</p>
<p>活動の内容</p> <p>名称 期間 場所 具体的内容 うれしかったこと 困ったことなど</p>	<p>女声コーラス「岩塚すずらんエコー」毎週金曜日岩塚中央公民館で練習に励む創立15年の合唱団。1995年1月13日もコーポセーターの「あいさつフェスティバル」出演に向け練習に励んでいた。しかし1995年1月17日午後5時46分の阪神淡路大震災で行事も中止に練習場の岩塚中央公民館も被災者の避難所と化しいつ元の姿に戻れるか見当も付かない状態。メンバー20名も各々の家庭が被害を受け趣味と業は余裕もなかった。それでも片付けが一発落した2月中旬、また大変な状態の中央公民館のレポートを集り着いた。誰かともなく「こんな時は歌がいい！」と声かき出した。音楽を愛する自分たちの為だけでなく、同じ被災地の施設の人々に私達の合唱が少しでも役にたてないか「人の声の暖かさか癒しの効果と発揮するのはー」早速練習会場と探し共同利用施設「鹿塩会館」と見つけ3月3日練習再開。メンバーの中には仮設住宅の人、家が半壊の人などいて、駆け付けると「歌えば天国！」と言って心をと一つに歌う。そして老人ホームの依頼を受け9月敬老の日にコンサートを開き喜ばせる。震災の被害は大きかったが人と人との繋がりについて教えるも大きかった。被災地でのコンサートは今も続いている。</p>

震災復興支援活動の記録

住所 ※①市町名は公開 させていただきます	〒	(事務局記入欄)
	(①市・郡・町)	宝塚市
	(②区・町・字)	
	(②丁目・番地等)	
	(④TEL)	
氏名 団体名	特定非営利活動法人 兵庫県難聴者福祉協会	
活動の内容 名称 期間 場所 具体的内容 うれしかったこと 困ったことなど	<p>1. 名称 被災難聴者・中途失聴者への支援活動</p> <p>2. 期間 平成7年1月17日～平成8年1月17日</p> <p>3. 場所 神戸市 芦屋市 西宮市 宝塚市 川西市 伊丹市 尼崎市 明石市 淡路一市10町</p> <p>4. 具体的内容 宝塚市総合福祉センターに全難聴阪神淡路大震災現地対策本部を設置し近隣府県の難聴者協会・要約筆記サークル及び言語聴覚士(ST)・補聴器販売店協会等の応援を得て避難所を巡回し耳の不自由な被災者に対する情報提供と生活に欠かせない補聴器の給付(300台)修理等実施した。 又、全国難聴者、要約筆記者から寄せられた義捐金 8036087 円の中 651500 円を 478 名に弔慰金、見舞金等に区分して配布し対策諸費として 1117481 円(阪神淡路大震災の教訓冊子マニュアル発行と避難所巡回交通費等)に充てる。</p> <p>5.うれしかったこと/ 全国よりの温かい善意の義援金と近隣地域の仲間と要約筆記者の支援がうれしい。</p> <p>困ったこと/ 避難所巡回の交通手段に苦慮した。避難所における fax の設置がされず情報提供に時間が要した。</p>	